

II. 活動に関する Q&A

Q1 どの程度の頻度で開くの？



- ・子ども食堂などは月に1回の開催するところが多いです。週1回開催されている所もあります。
- ・子ども居場所を始めようとされる時に、立ち上げの仲間と十分に話し合い無理のない回数から始めるほうがいいです。

Q2 参加者は事前に把握したほうがいいの？



- ・(A 団体) 地域の子どもであれば、だれでも来られるような場としているので、申込はとっていません。当日、受付で名前を確認しています。
- ・(B 団体) 申込制をとっています。参加者を把握することでリスク管理もできています。
- ・(C 団体) 人数が読めなくて困るときがあります。申込制にすると、食事数が読みやすくなるけれど、まだ取り組んでいません。

Q3 送迎はどうしているの？



- ・(A 団体) 開催は土曜日の昼間なので、送迎はしていない。
- ・(B 団体) 平日の夕方に開催している。帰りは保護者に迎えに来てもらっている。
- ・(C 団体) 平日の夕方に開催。帰りは保護者が迎えに来る子や、運営者が送る場合もある。家が近くの子は何人かで一緒に帰るようにしている。
- ・幼児の場合は、必ず保護者と一緒に参加するようになっています。

Q4 食事のメニューはどうしているの？



- ・初回は力を入れすぎず、得意なメニューや失敗しにくいメニューがいいのではないのでしょうか。
- ・人数変更に対応しやすい「カレー」を提供している所も多いです。
- ・食中毒予防のため、できるだけ十分な加熱をして提供できるメニューにしています。
- ・メニューには悩みます。他の食堂のメニューを参考にするのもいいかもと思っています。

Ⅲ. 活動を応援したい方へ



子どもの居場所の活動は、利用者の参加費や寄付などの支援によって支えられています。食材や物品・お金を寄付したい、ボランティアとして参加したいなど様々な形で支援が行われています。寄付を募るため、居場所開催日に募金箱を設置されている所もあります。

食材や物資提供で応援

- ・調味料や缶詰類、お米・パスタなど常温で長期保存できる食品は喜ばれています。
- ・お米は献立の中心となるので、寄付は歓迎されます。
- ・食材や文具、衛生用品など、子ども食堂や学習支援などで使う物品も喜ばれます。

寄付で応援

- ・お金を寄付し応援。
- ・生鮮食品や調味料などは、それぞれの食堂で購入しているケースがほとんどです。
- ・運営団体によっては、開催会場の使用料を支払っていたり、子どもの安全のための保険加入などもありますので寄付金も大変助かります。

ボランティアで応援

- ・活動にボランティアとして協力したい。
- ・開催日には、調理スタッフだけでなく、洗い物や子どもたちの遊び相手になってくれるボランティアがいると助かりますとの運営団体の皆さんからの声があります。

Q 応援したいときはどこに相談すればいいの？



地域こども支援ネットワーク事業のホームページに活動を応援したい方へのコーナーがあります。

また、大阪市社会福祉協議会ボランティア・市民活動センターや区社会福祉協議会ボランティア・市民活動センターに問いあわせてみましょう。

[地域こども支援ネットワーク事業 \(osaka-sishakyo.jp\)](http://osaka-sishakyo.jp)

大阪市ボランティア・市民活動センター ☎ 06-6765-4041

東住吉区社会福祉協議会 ☎ 06-6622-6611